



地震かな?! 机の下へ逃げ!

- 主な内容**
- P2-3 地震への備え
 - P4 休日窓口の取り扱い業務を拡大します
 - P5 伊勢崎駅南口駅前広場の利用形態が変わります
 - P14 伊勢崎発のピュアな自然派トマト「Julia-575」

表紙写真：境いよく保育所避難訓練
 2月10日、境いよく保育所で避難訓練が行われました。地震発生が告げられると、子どもたちはすぐに机の下へ。もしものときに慌てず行動できるよう、避難の手順を確認しました。皆さんの家では、地震への備えはできていますか。

田島弥平旧宅物語

紡いだ歴史

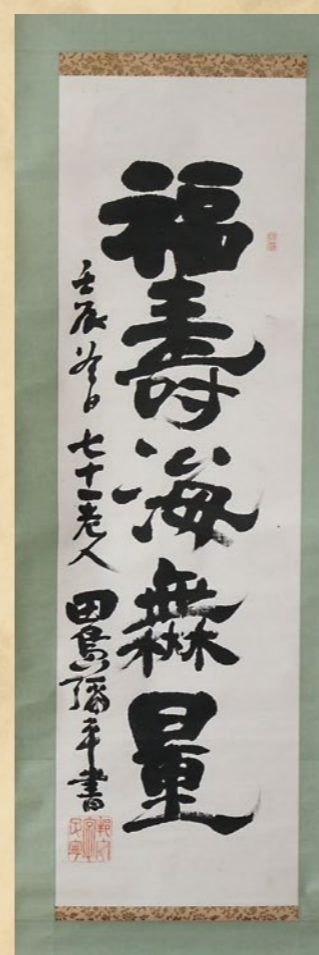
世界遺産
富岡製糸場と絹産業遺産群

問い合わせ
 ●文化財保護課 (☎63-3636)
 ●田島弥平旧宅案内所 (☎61-5924)

第24話(最終回) 田島弥平旧宅を未来へ

田島弥平が生まれた文政5年(1822年)に、弥平の父である初代弥兵衛は、利根川中州にあった前島から現在の田島弥平旧宅のある場所に移り住みました。「旧宅」とは、近世・近代における日本の政治・経済や学術・文化などに貢献した人物が、一定期間生活した住宅の遺跡のことを指します。弥平は養蚕の研究者、指導者、蚕種商人として活躍

しました。弥平は研究者として、養蚕方法の実証的な研究を行いました。通風を重視した蚕の飼育法「清涼育」を大成し、清涼育に基づいた瓦ぶき2階建てで、屋根の上に換気用のやぐらに乗せた近代養蚕農家の原型を完成させます。そして自身の養蚕理論を『養蚕新論』、『続養蚕新論』として出版し、清涼育を全国に広めました。また指導者としては、全国からの養蚕伝習生の受け入れや、宮中養蚕の世話役として皇居へ参上したことが挙げられます。さらに蚕種商人としては、鳥村勸業会社の設立とヨーロッパへの蚕種直輸出などで、大きな成果を挙げました。



▲田島弥平晩年の書
 弥平が71歳のときの書で、「福壽海無量」と書いてある。これは「観音経」中の言葉で、観世音菩薩の功德(善い行い)は福を聚めた大きな海のように量に限りがない、という意味である。

弥平は生涯を養蚕に尽くし、養蚕長者と呼ばれました。そして、島村をはじめ地域社会の発展にも尽力しました。富岡製糸場や高山社跡、荒船風穴とともに、田島弥平旧宅と弥平の偉大な業績は、日本の近代化を支えた、世界に誇るべき遺産です。この遺産は、私たち伊勢崎市民が後世へ伝えていかなければならない、大切な宝物なのです。(完)

編集後記

この職場も長くなり、今までいろいろな仕事をしてきました。写真を撮る、文章を書くことはもちろん。ホームページのリニューアルやSNSの立ち上げ、動画の撮影や編集など、思い返せば普通の公務員としては役に立たなそうなスキルばかり…とそんなことはありません。

ほかの部署や事業者と調整したり、他市の情報を参考にしたりと、ここでしかできなかった経験がいっぱい。この経験を生かすも殺すも自分次第。良かったこと悪かったこと、いっぱいあったな～(か)

いぎき公民館

自慢のサークル紹介

第35回 殖蓮公民館

サークル名 琴秋会

●活動状況は?
 ▶月2回程度
 ●活動場所は?
 ▶殖蓮公民館
 ●メンバーは?
 ▶6人

懐かしい曲から現代的な曲まで、いろいろな曲を大正琴で弾いて楽しむサークルです。初心者でも、基礎から先生の丁寧な指導を受けられます。デイサービス施設の皆さんからの演奏依頼や、年に1度のサークル発表会に向け、みんなで和気あいあいと活動しています。自分で好きな曲を弾けること、そして心が癒やされる美しい響きが大正琴の魅力。琴の音色に合わせて皆さんと一緒に歌ってくると、とてもうれしいです。

地震発生時の行動パターン

大きな地震が発生すると、落ち着いて行動することは難しいものです。いざというときに慌てずに身を守るために、行動パターンを覚えておきましょう。

地震発生

- 落ち着いて自分の身を守る
机の下に隠れるなど、まずは身を守ることを第一に。



1~2分

- 火元を確認し、出火していたら初期消火をする
- 家族の安全を確認
- ガラスの破片などから足を守るために靴を履く
- 非常時持ち出し品を用意する

3分

- 隣近所の安否を確認
一人暮らしの高齢者や災害時要援護者がいる家には、積極的に声を掛けて安否を確認しましょう。
- 余震に注意



5分

- テレビやラジオなどで正しい情報を確認
- 家屋倒壊の危険などがあれば避難する



地震発生から3日ぐらいまで

- 壊れた家には入らない
- 生活必需品は自己備蓄で賄う
- 災害情報・被害情報の収集
市が発信する情報に注意しましょう。
- 引き続き余震に注意
- 家屋倒壊の恐れがある場合は避難所で生活する
避難生活では助け合いの心を忘れずに、市や自主防災組織の支持に従い、ルールを守り生活しましょう。



10分~数時間

- 消火・救出活動
近所の人と協力して、消火活動や救出活動をする。
- 随時、テレビやラジオなどで正しい情報を確認



5分~10分

- 子どもを迎えに行く
自宅を離れるときは、行き先を書いたメモを残しましょう。
- さらに出火防止を
ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る(通電火災対策)。

地震への備え

東日本大震災から4年が経とうとしています。自然災害は人の力ではなくすることはできませんが、被害は日頃の備えによって減らすことができます。いざというときに備えて、家具の固定や備蓄品の用意など、まずは身の回りから地震対策を始めましょう。

問い合わせ 安心安全課 (☎27-2706)

家の中でできる安全対策を心掛けましょう

- 過去の大地震では、大きな揺れにより多くの人が家具の下敷きになったり、割れたガラスでけがをしたりするなどの被害に遭っています。いざ避難しようとしたときに、倒れた家具が出口をふさぎ、避難の妨げになってしまふこともあります。次のことに気を付けて、家の中に安全な空間をつくりましょう。
- 大きな家具を固定し転倒を防ぐ
- 寝室の家具の配置を見直す
- ガラスの飛散を防ぐため、窓ガラスに飛散防止シートを貼る
- 割れたガラスで足をけがしないよう、厚手のスリッパを用意する



備蓄品を用意しましょう

大震災では、被災地に長期間物資が届かない状況が想定されます。水やレトルト食品、トイレトペーパーなどの買い占めが発生し、品不足になる恐れもあります。電気、ガス、水道といったライフラインが停止してしまうことも考えられます。復旧までの数日

非常時持ち出し品を用意しましょう

いざ避難が必要になったときに、気持ちと時間に余裕がない状況が考えられます。非常時持ち出し品は、災害時に慌てて用意するのではなく、普段からまとめておきましょう。



間を乗り切るための備えを、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておきましょう。飲料水やアルファ化米、缶詰などの保存食品は、最低でも3日分用意しましょう。1週間分の蓄えがあると安心です。保存食を調理するのに、カセットコンロなども必要です。懐中電灯やラジオは定期的に動作を確認し、予備の電池も用意しましょう。普段、私たちの生活の中では電気、ガス、水道が使えることが当たり前です。これらが使えなくなってしまう場合のことを想定して、備蓄品を用意しましょう。

避難するときはこんな服装で



う。「なければ困る物」から「あったら便利な物」の順に準備し、避難の際に両手を使えるよう、リュックサックに詰めましょう。重すぎないか一度背負ってみることも重要です。

家族のルールを決めましょう

連絡方法 家族が離れ離れになっているときに地震が発生した場合の連絡方法を、あらかじめ決めておきましょう。大きな地震が発生すると、通信回線の混雑などで連絡が取りにくくなります。災害用伝言ダイヤルや携帯電話の災害用伝言板などの操作手順を確認

災害用伝言ダイヤルの使い方

- 1 171をダイヤル
- 2 録音(1をダイヤル)または再生(2をダイヤル)を選ぶ
- 3 メッセージを残す場合は自宅の電話番号、メッセージを再生する場合は連絡を取りたい人の電話番号をダイヤル
- 4 メッセージの録音・再生

※災害用伝言ダイヤルは、固定電話や公衆電話、災害時にNTTが設置する特設公衆電話で利用できます

役割分担 非常時持ち出し品は誰が何を持つか、火の始末に誰が責任を持つかなど、災害時の家族の役割を決めておきましょう。

待ち合わせ場所 「伊勢崎市防災マップ」などを参考に、離れた場所にいる家族と合流するための待ち合わせ場所を決めておきましょう。ベンチなど目印になるものを、できるだけ詳細に決めておくことがポイントです。
※「伊勢崎市防災マップ」は市民情報コーナー(市役所・各支所)にあります。市ホームページから閲覧もできます

災害時に発揮される地域の力

過去の地震で、家具などの下敷きになった人の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。地域の住民が協力することで、被害を抑え、命を救うことができます。住んでいる地域で行われる防災訓練などには、積極的に参加しましょう。防災訓練以外にも、さまざまな行事に参加することで、地域のつながりを強めることができます。隣近所の人と防災について話し合い、地域の防災力を高めましょう。

PICK UP 境小此木で災害図上訓練を実施



災害図上訓練とは?

地図の上に透明なシートを敷き、災害が発生したと想定して、予測される被害や危険箇所、避難経路・避難場所、対策などをシートに書き込んでいく訓練。

1月25日、小此木公民館で災害図上訓練が実施されました。訓練は地域住民の皆さん、地元消防団、消防、警察、市職員などが参加し行われました。自分たちが住んでいる地域では災害時どういいうケースが想定されるか、高齢者や体の不自由な人など避難時に手助けが必要な人はいないかなど、災害時の心構えを確認しました。

3月22日(日)・29日(日)・4月5日(日) 休日窓口の取り扱い業務を拡大します

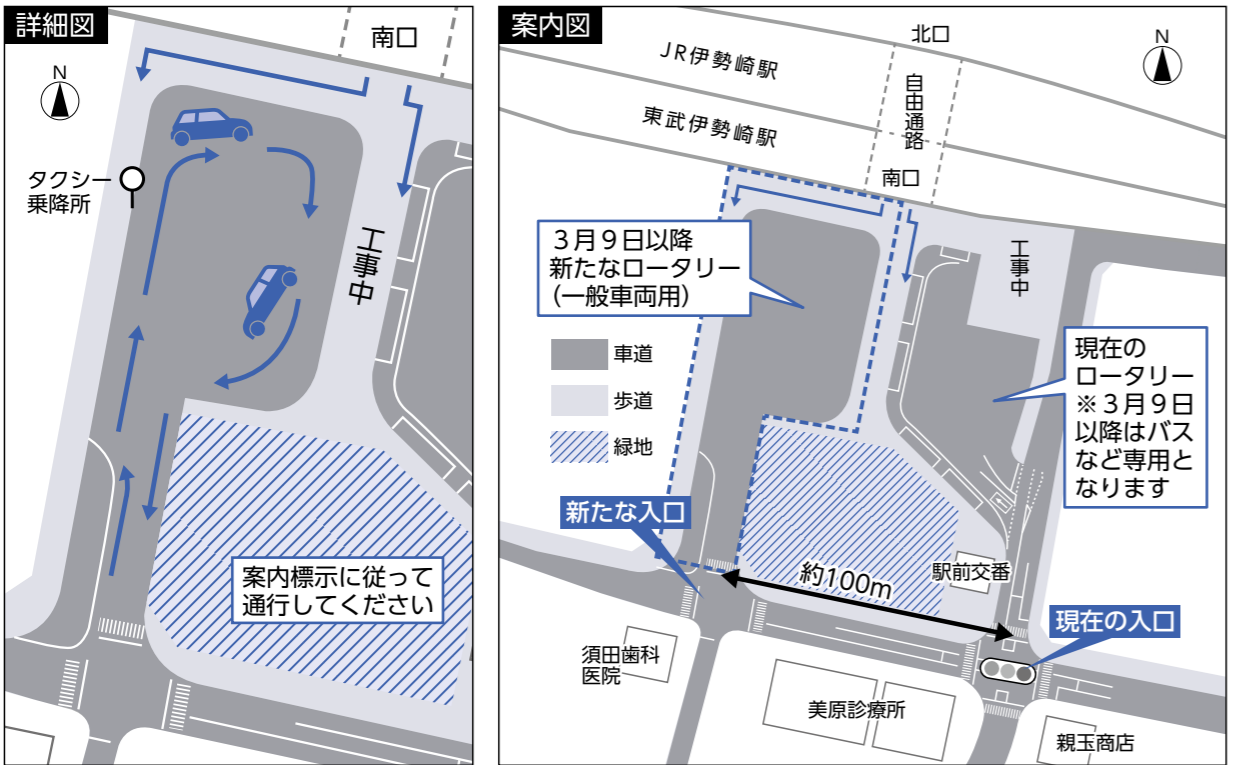
3月22日から4月5日までの日曜日に、市役所の休日窓口を、下表のとおり取り扱い業務を拡大して開設します。

期日 3月22日(日)・29日(日)・4月5日(日)
時間 午前9時～午後5時

休日(土・日曜日)の窓口開設
●市民課では、この期日以外の日曜日(午前9時～午後5時)も休日窓口業務を行っています。また各支所住民福祉課では土曜日(午前9時～午後0時15分)に、市民サービスセンター宮子・あずまでは土・日曜日(午前10時～午後7時)に、各種証明書の交付や印鑑登録の手続きができます
●納税課では、この期日以外の土・日曜日(午前9時～午後3時)も納税相談を行っています

開設窓口	取り扱う業務	問い合わせ
市民課 (1・2・8番窓口)	住民票の写し、戸籍の証明などの交付、 印鑑登録および証明書の交付	☎27-2727
	転入、転出、転居など住民異動に関する届け出	☎27-2729
	出生、死亡、婚姻など戸籍に関する届け出の預かり	☎27-2726
	パスポートの交付	☎27-2728
臨時開設 国民健康保険課 (3番窓口)	国民健康保険に関する手続き (資格の取得・喪失・変更の届け出、給付の申請)	●資格 = ☎27-2735 ●課税 = ☎27-2736 ●給付 = ☎27-2737
臨時開設 年金医療課 (4番窓口)	後期高齢者医療に関する手続き (資格の取得・変更の届け出など)	☎27-2739
	子どもの医療費など福祉医療の手続き (資格の取得・変更の届け出など)	☎27-2740
	国民年金の手続き(資格の取得・変更の届け出など)	☎27-2741
納税課 (6番窓口)	納税相談	☎27-2723

※取り扱える業務が限られています。手続きの内容や必要な書類など、事前に問い合わせてください
※休日窓口業務を行わない課やほかの市町村などに確認が必要な手続きは、受け付けできない場合があります
※現在3番窓口で行っている土・日曜日納税相談は、3月21日(祝)から6番の税証明総合窓口(☎27-2724)に移転します



伊勢崎駅南口駅前広場の利用形態が変わります

一般車両専用として
西側ロータリーの利用を開始

伊勢崎駅周辺第一土地区画整理事業では、現在、伊勢崎駅南口駅前広場の整備を進めています。3月9日(月)午前5時から、これまで使用していた駅南口駅前広場の西側に開設するロータリーの利用を開始します。

新しいロータリーは、一般車両専用となります。一般車両の入口が、上記案内図のとおり約100メートル西側へ移動します。これに伴い、これまでのロータリー(東側)は、バスなど公共交通車両専用となります。ただし、タクシー乗降所は、一時的に西側の一般車両専用ロータリー内に移動します。利用の際は注意してください。

駅南口駅前広場では、当分の間、雨よけ屋根などの工事を実施しています。臨時にロータリーの利用形態を変更する場合がありますので、現地の誘導看板などに従って、注意して利用してください。
問い合わせ 市街地整備課(☎27490)

市営羽黒住宅1棟の入居者を募集

2月に新築工事が完了した市営羽黒住宅1棟の入居者を募集します。住宅課で入居の申し込みを受け付けます。
問い合わせ 住宅課(☎272764)

入居申し込みの受け付け

入居には市税の滞納がないこと、所得制限などの条件があります。申し込みの前に住宅課、または市ホームページで詳細を確認してください。募集内容は変更になることがあります。必要書類を用意する期間を考慮して、余裕を持って申し込んでください。
募集期間 3月16日(月)まで

抽選会の実施

申し込みが募集戸数を超えた場合は、抽選会を行います。
期日 3月22日(日)
時間 午前9時10分開始
会場 市役所東館5階第1会議室

市営羽黒住宅1棟 募集対象世帯

対象世帯	募集戸数
子育て世帯または母子世帯	6戸
高齢者世帯または障害者世帯	1戸
一般世帯	1戸

対象世帯の説明
●子育て世帯 = 夫婦と就学前の子どもがいる世帯、または婚姻から3年を経過せず、夫婦の年齢の合計が70歳以下の世帯
●母子世帯 = 現在婚姻していない昭和31年4月2日以降に生まれた母と未成年の子どもだけの世帯
●高齢者世帯 = 昭和31年4月1日以前に生まれた人で2人以上の世帯(子どもがいる場合は18歳未満に限りです)
●障害者世帯 = 障害者がいる2人以上の世帯
●一般世帯 = 中堅所得者世帯(収入月額が15万8,000円から48万7,000円までの世帯)に該当しない、2人以上の世帯

軽自動車・バイクなどの登録変更は 3月31日(火)までに

軽自動車税は、毎年4月1日現在の軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車・原動機付自転車の登録者に対して課税されます。住所を変更したときや、軽自動車などを廃車・売却・下取りなどで手放したときは、3月31日(火)までに必ず登録変更の手続きをしてください。手続きをしないと、既に軽自動車などを所有していても軽自動車税が課税されますので注意してください。3月末は窓口が混雑します。早めの手続きを済ませましょう。
問い合わせ 市民税課(☎2715)

原動機付自転車・小型特殊自動車 こんなときは届け出を

こんなとき	届け出の区分	必要な物
●廃車(処分)する ●市外へ転出する ●市外の人に譲る ●下取りに出す	廃車	ナンバープレート 登録者の印鑑 標識交付証明書
市内の人に譲る	名義変更	新しい登録者の印鑑 標識交付証明書 譲渡証明書(旧登録者の押印があるもの)

軽自動車、バイクなどの登録変更の届け出先

車種区分	廃車や登録変更などの届け出先
原動機付自転車(125cc以下) 小型特殊自動車	市民税課 ☎27-2715
二輪の軽自動車 (125ccを超え250cc以下)	群馬県自動車整備振興会(前橋市) ☎027-261-0274
二輪の小型自動車 (250ccを超えるもの)	関東運輸局群馬運輸支局(前橋市) ☎050-5540-2021
三輪・四輪の軽自動車	軽自動車検査協会群馬事務所(前橋市) ☎050-3816-3109

※普通自動車にかかる税金は県税です。税の仕組みや支払いなどについての詳細は伊勢崎行政税務事務所(☎24-4350)に、届け出については関東運輸局群馬運輸支局(☎050-5540-2021)に、それぞれ問い合わせてください

上武大学との連携協力を 関する協定を締結

本市と上武大学は、審議会などへの委員の推薦や講演会などへの講師の派遣、伊勢崎シティマラソンへの駅伝部の参加など、多くの連携を図っています。これらの連携に加えて、教育、健康、福祉、文化、地域産業、国際交流などの分野において連携協力を推進し、それぞれの活動の充実を図るとともに、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、2月6日、「伊勢崎市と上武大学との連携協力に関する協定」を締結しました。



協定書を交わす
上武大学渋谷朋子理事長(左)と五十嵐市長

福祉医療の資格要件

- 身体障害者手帳の1級または2級
- 障害年金の1級(相当)
- 特別児童扶養手当の1級または2級
- 療育手帳の判定A
- 18歳未満の子どもを扶養している母子・父子家庭など
※18歳の誕生日以後の最初の3月31日(4月1日生まれば18歳の誕生日前日)までの子どもを含みます
- 自立支援医療費(精神通院)の受給者

中学3年生の子ども・子どもが18歳を迎えたひとり親家庭など
福祉医療の受給資格を確認しよう

受給資格は3月31日(火)まで。ほかの福祉医療制度に該当する人は申請してください

中学生以下の子どもやひとり親家庭の福祉医療に該当している人で、受給資格の有効期限が3月31日までの人は、その後の医療費は自己負担となります。

ただし、左記の資格要件に該当する場合は、申請すれば4月以降も福祉医療の受給資格を得ることができます。受給資格の認定は、必要書類の確認ができた日となります。現在の受給資格者証の有効期

適正な受診にご協力を

福祉医療に該当する人の医療費は、原則として医療機関での窓口負担がありません。福祉医療制度で掛かったその医療費は、皆さんの税金で支払われています。貴重な財源を有効に使うため、必要のない受診は控えるようにしましょう。

【受診のポイント】

- 入院するなど、高額な医療を受ける場合は、加入している健康保険で「限度額適用認定証」を取得する
 - 学校での活動中のけがは、日本スポーツ振興センター災害共済給付金を申請する
 - 子どもの急な病気に困ったときは、小児救急電話相談(☎#8000)を活用する
- 問い合わせ 年金医療課(☎272740)・各支所住民福祉課

固定資産税 閲覧・縦覧できます

固定資産税は、土地・家屋・償却資産を所有している人に課税される税金です。平成27年度の固定資産課税台帳の閲覧と土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧ができます。

問い合わせ 資産税課(☎272719)

課税内容の確認を

【固定資産課税台帳の閲覧】
固定資産課税台帳に記載されている土地・家屋のうち、納税義務者本人が所有しているものについて、課税の内容を確認できます。

なお、5月上旬に発送予定の納税通知書にも課税台帳と同じ内容を記載します。

対象 納税義務者、納税義務者と同世帯の親族、納税管理者、納税義務者から委任を受けた人、借地・借家人

手数料 無料

※借地・借家人は土地1筆300円で1筆増えるごとに50円加算、家屋1棟300円で1棟増えるごとに50円加算されます

【土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧】
土地の納税者は土地、家屋の納税者は家屋について、縦覧帳簿で評価額を確認できます。※償却資産は対象外です

対象 納税者、納税者と同世帯の親族、納税管理者、納税者から委任を受けた人

手数料 無料

※ 必ずしも

期間 4月1日(水)から6月1日(月)まで

※土・日・祝日は除きます

時間 午前8時30分～午後5時15分

会場 資産税課・各支所納税推進室

用意する物 本人確認ができる物(運転免許証、健康保険証など)、委任を受けた人は委任状、借地・借家人は賃貸借契約書など有償の権利関係を示す書類

期間 4月1日(水)から

会場 資産税課・各支所納税推進室

手数料 無料

平成27年度用路線価、標準宅地の位置・価格の閲覧

期間 4月1日(水)から

会場 資産税課・各支所納税推進室

手数料 無料

市政に対する「意見」「提案など」皆さんの「声」をお寄せください

本市では、市民の皆さんの市政に対するさまざまなご意見・ご提案を「市民の声」として受け付け、市政運営の参考にしています。身近で困っていることや市の事業への提案など、皆さんが市政について感じていることを気軽に寄せください。

問い合わせ 広報課(☎272711)

皆さんの「声」を基に より良い伊勢崎市へ

皆さんから寄せられた「市民の声」は、内容に応じて担当部署に送付します。回答を希望する人には、市の見解やその後の対応などについて、文書やメールなどで回答しています。

市政のさまざまな課題について市民の皆さんと情報を共有するため、寄せられたご意見・ご提案とそれに対する市の回答の一部を、本紙や市ホームページで公開しています。この場合、プライバシー保護のため、本人や関係者の住所、氏名など個人が特定される情報は公開しません。

あなたの「声」をお寄せください

- 名前・住所・電話番号、メールアドレス・件名(メールフォームからの場合)を記入して、次のいずれかの方法でご意見・ご提案をお寄せください。
- 郵送(封書やはがき)で、〒372-8501(住所不要) 市役所広報課「市民の声」係
 - ファクス(☎23-9800)
 - 市役所・各支所・各公民館に設置してある投書箱
 - 市ホームページ内、「市長の部屋」から「市民の声」メールフォーム
※メールアドレスが誤っていると返信できませんので、注意してください



市役所などに設置してある投書箱

これまで寄せられた「市民の声」

「市民の声」として平成26年中に皆さんから寄せられたご意見・ご提案と、その回答の一部を紹介します。

※文章は要約・編集しています

■東毛広域幹線道路周辺の公園住宅地帯化

東毛広域幹線道路からの景観は素晴らしいので、道に沿って幅のある緑地帯を造る、低木だけ植えるなど、その周辺を公園住宅地帯に指定して遠く山並みが見える美観を維持してほしいです。

▼回答
この道路の周辺地区は、自然環境や農業環境などを保全するために、開発を抑制する市街化調整区域に位置付けられています。将来、市街化区域に編入する予定はありません。



整備された東毛広域幹線道路

■古着回収



不要な衣類は資源保管庫へ

平成26年4月から古着の回収が始まりました。途上国援助などにもなるということで、良いことだと思っています。

現在、古紙回収のため、各支所や各公民館に物置が設置され、回収日を問わず古紙を出すことができますが、古着もこの物置に出せるようにしてほしいです。

▼回答
皆さんがいつでも資源物を出せるよう、各支所や各公民館などの公共施設に設置している物置(資源保管庫)でも衣類の回収ができますよう、準備を進めています。資源保管庫

■学校のトイレの改修

昨今の生活実態に合わせ、小・中学校のトイレは全て洋式に改修してほしいです。

▼回答
小・中学校のトイレの洋式化は、市の重点政策の一つとして位置付けられています。老朽化したトイレをリニューアルし、「汚い・臭い・暗い」という3Kの改善を図り、快適な学校施設として整備しています。

一般家庭でのトイレの洋式化が進む中、学校のトイレも便器の洋式化を最優先に、床の乾式化、広い手洗い場やトイレプールの設置などを行います。平成28年度までに、全ての小・中学校のトイレ改修工事を行う計画です。

▼報告
平成26年度は、市内9小学校のトイレ改修工事が終了しました。

市民ボランティアフェスティバル ボランティアの輪を広げよう



ステージ発表は多くの人にぎわいました



バザーで楽しくお買い物



イラストに色を塗って下敷きを作りました



エプロンシアターを楽しみました

2月1日、緋の郷を会場に「市民ボランティアフェスティバル」が開催されました。市内で活動する43団体が参加し、日頃のボランティア活動についての紹介やステージ発表など、さまざまな催しが行われました。

子ども活動では、親子で楽しくふれあえるリズム遊びやエプロンシアターなどが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。そのほかにもバザーで買い物を楽しんだり、茶道や機織り体験などの文化体験をしたりと、大人から子どもまで多くの方が訪れ、フェスティバルは盛況のうちに幕を閉じました。

景観まちづくり賞表彰式・景観まちづくり講演会 景観を生かしたまちづくりに貢献



建築物デザイン部門で表彰を受けるおない内科クリニック建築主の小内亨さん



小谷野工業倉庫



田島達行さんが維持管理する養蚕農家建物



おない内科クリニック診療所・多目的棟



小泉コスモス組合が管理するコスモス畑

1月29日、本市の良好な景観の形成に貢献した市民・事業者などを表彰する「景観まちづくり賞」の表彰式と、「景観まちづくり講演会」が、境総合文化センターで行われました。

表彰式では、建築物デザイン部門で小谷野工業倉庫、おない内科クリニック診療所・多目的棟、群馬県農業技術センターの3つの建物が、まちづくり活動部門で田島達行さん、小泉コスモス組合が表彰され、記念品が贈られました。

講演会では、いせさき街並み研究会代表の栗原昭矩さんが、市内に残る歴史的な景観を写真で紹介しながら、歴史的な景観が持つ魅力と可能性について語りました。



群馬県農業技術センター



受賞した建築物・まちづくり活動を紹介するパネル展示



「伊勢崎の景観まちづくり可能性を探る」魅力と可能性について語る栗原昭矩さん

青少年健全育成大会 心豊かな青少年を表彰



青少年善行表彰を受ける殖連第二小学校の丸山真歩さん(手前)と西野目海帆さん(奥)

2月7日、赤堀芸術文化プラザで「青少年健全育成大会」が開催されました。日頃から地域や学校での活動に積極的に参加するなど、善い行いをした青少年(小・中学生、高校生ほか)153人の個人・団体と、青少年健全育成などに関する絵画・ポスター入賞者(小・中学生)9人が、表彰を受けました。

高校生就職ガイダンス 将来について考えました



働くことについて高校生に語りかける木村勉さん

2月3日、市役所で高校2年生を対象とした「就職ガイダンス」が行われました。

社会人講師の(株)パイロットコーポレーション伊勢崎工場長の木村勉さんとの交流会では、高校生たちは就職に関する疑問を積極的に質問し、木村さんから仕事に対する心構えなどを学びました。

「上野国佐位郡正倉跡」国史跡指定記念事業 国史跡指定をきっかけに地域の歴史にふれました



地域学習の成果を発表する殖連小学校の6年生



遺跡の概要を紹介したパネル展示

上植木本町で見つかった古代の役所の倉庫跡「上野国佐位郡正倉跡」が平成26年10月に国史跡に指定されたことを記念する式典が、1月31日、市役所で行われました。式典後には館林市史編纂センターの前沢和之さんと、東京大学大学院教授の佐藤信さんが、「上野国佐位郡正倉跡」について講演をしました。また殖連小学校の6年生が、「上野国佐位郡正倉跡」をはじめとする地域に残された史跡についての学習の成果を発表しました。式典には多くの方が訪れ、かつて本市にあった古代の建物に思いをはせました。



「上野国佐位郡正倉跡」について解説する前沢和之さん

- 伊勢崎市役所 ☎0270-24-5111
 - 赤堀支所 ☎0270-62-1151
 - あずま支所 ☎0270-62-1311
 - 境支所 ☎0270-74-1111
- 開庁時間 午前8時30分～午後5時15分
- 火災情報案内(24時間) ☎0180-99-2999
 - 救急テレホンサービス(24時間) ☎0270-23-1299

民生委員・児童委員を紹介します

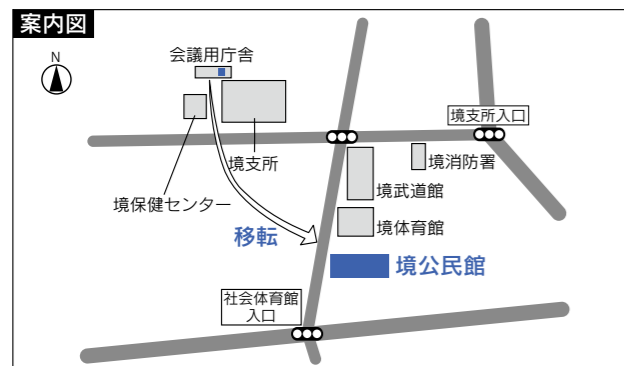
小暮初枝さん(本町二区)が厚生労働大臣から委嘱され、民生委員・児童委員に就任しました。

問い合わせ 社会福祉課(☎27-2748)

境公民館が完成しました

3月中に境公民館の事務室を境支所会議用庁舎から移転します。開館は4月1日(水)を予定しています。研修室、会議室、和室、料理実習室、工作実習室など、地域の生涯学習活動の拠点として、また人の集う憩いの場として、広く活用してください。

問い合わせ 生涯学習課(☎27-2793)



お知らせ

ふれあいセンター別館浴室の利用を廃止

高齡福祉課(☎27)2752
浴室設備の老朽化のため、3月30日(月)をもってふれあいセンター別館の浴室の利用を廃止します。4月1日(水)以降は、本館の浴室をご利用ください。皆様のご理解をお願いいたします。

ふくしプラザバスの利用は予約が必要になります

高齡福祉課(☎27)2752
ふくしプラザ・ふれあいセンター利用者のため、巡回型バスとして運行しているふくしプラザバスの運行方法を、4月1日(水)から利用者の希望に応じて運行する予約型に変更します。利用の際は、乗りたい停留所や時間を予約してください。詳しい利用方法は、問い合わせてください。
運行期日・地区
●月曜日＝豊受地区
●水曜日＝北・三郷地区、南・茂呂地区
●木曜日＝殖蓮地区
●金曜日＝宮郷地区、名和地区

講座

はじめてのノルディックダンス教室

茂呂公民館(☎25)2671
期日 3月18日(水)
時間 午後1時30分～3時30分
会場 茂呂公民館
対象 市内に在住または在勤の50歳以上の人
定員 15人(先着順)
内容 ノルディックウォーキング用の2本のストックを使って、音楽に合わせて楽しく

ベビーマッサージ

境児童館どんぐり(☎70)2415
期日 3月19日(木)
時間 午前10時30分～11時30分
会場 境児童館どんぐり
対象 市内に在住の1歳未満の子どもの保護者
定員 12組(抽選)
内容 植物オイルを使って赤

雇用調整助成金の申請を

商工労働課(☎27)2755
本年度の雇用調整助成金の申請は、3月31日(火)までです。申請が済んでいない事業所は、商工労働課に申請書を添えて申し込んでください。
※申請書は商工労働課にあります。市ホームページからダウンロードもできます
対象 国の雇用調整助成金(休業)の支給決定を受けた市内の事業者

公共下水道供用開始区域の縦覧

下水道整備課(☎27)2777
3月31日(火)から、公共下水道を利用できる区域が広がります。対象区域を示した地図を縦覧に供します。
期間 3月9日(月)から30日(月)まで
※土・日・祝日は除きます
会場 下水道整備課
対象区域 上植木本町、上諏

市民ホール ランチタイムコンサート



市民の皆さんが気軽に音楽を楽しめる、ランチタイムコンサートを開催します。
※座席を80席用意します。立ち見もできます
期日 3月18日(水)
時間 午後0時15分～0時45分
会場 市役所東館1階市民ホール
内容 現代箏曲
入場料 無料
問い合わせ 行政課(☎27-2702)

傍聴しましょう

教育委員会会議定例会
教育委員会総務課(☎27)2785
期日 3月17日(火)
時間 午後2時開始
会場 市役所本館5階職員研修室

消防サイレンの吹鳴を一時中止します

消防本部総務課(☎25)3511
消防本部では、火災の発生などを市消防団員や地域の皆さんに知らせるために、サイレンを鳴らしています。消防サイレン吹鳴機器のデジタル化に伴い、3月10日(火)から機器の入れ替え工事を行います。工事完了までの間、サイレンの吹鳴を一時中止します。

募集

防犯地域ハトール協力員を募集

安心安全課(☎27)2706
安心して安全なまちづくりのため、通学路などのパトロールにボランティアとして参加できる人を募集します。
活動期間 4月1日(水)以後
登録した日から平成28年3月31日(木)まで
対象 市内に在住または在勤・在学中、防犯地域パトロールに継続的に参加できる個人・団体
内容 散歩や子どもの送迎などの際に、市から貸与された腕章を着用してパトロール活動を行います。活動時間や方法などは自由です。市や防犯委員が地域の防犯活動への参加をお願ひすることがあります

親子で楽しむベビーマッサージ教室

赤堀公民館(☎62)1153
期日 4月9日・16日・23日の木曜日(全3回)
時間 午前10時～正午
会場 赤堀公民館
対象 市内に在住の2カ月以上8カ月未満の子どもの母親
※以前受講した人は除きます
定員 15組(先着順)
内容 植物オイルを使ったマッサージ、手遊び歌、絵本の読み聞かせを行います
参加料 750円(教材費)
申し込み 3月12日(木)午前10時から参加料を添えて赤堀公民館へ

足つぽマッサージとダンベル体操教室

あずま公民館(☎62)0115
期日 3月23日(月)
時間 午後1時30分～3時
会場 あずま公民館
対象 市内に在住の人
定員 20人(先着順)

参加料 無料

申し込み 3月9日(月)から直接または電話であずま公民館へ

休日の漏水などの連絡先

竜宮浄水場(☎24-1760)または下記の水道指定工事店へ連絡してください。

- 3月21日(祝) 高岸設備工業 ☎25-7278
- 3月22日(日) 後藤設備 ☎50-7581
- 3月28日(土) 丸新設備工業 ☎25-0554
- 3月29日(日) 三和設備工業 ☎62-0102

次の地域の連絡先は、以下のとおりです。
 ● 境島村の利根川右岸地域(本庄市給水区域)
 = 本庄市水道課(☎0495-22-2151)
 ● 境平塚の利根川右岸地域(深谷市給水区域)
 = 深谷市水道工務課(☎048-574-6661)

市母子会親子ふれあい交流事業
ディズニールンド旅行
児童家庭課(☎27-2798)

期日 5月23日(土)
 時間 午前6時40分市役所集合・出発
 ※午後10時帰着予定
対象 市内に在住の母子・父子家庭の高校生以下の子どもとその親
定員 140人(抽選)
参加料
 ● 母親・父親 7000円
 ※市母子会員でない人は9000円
 ● 中学生・高校生 6000円
 ● 4歳以上小学生以下 5000円
 ● 3歳以下 1000円
 ※バス代・入場料・保険料を含みます
申し込み 往復はがきの往信用通信面に郵便番号・住所・電話番号・参加者全員の氏名と生年月日を、返信用宛名面に代表者の郵便番号・住所・氏名を記入の上、郵送で母子会事務局へ
 ※1家族1枚で申し込んでください
宛先 〒379-2234
 東小保方町3243-2 社会福祉協議会あずま支所内、

市民の善意
秘書課(☎27-2700)

次の皆さんから、寄付・寄贈がありました。ありがとうございました。
 ● 日本労働組合総連合会群馬県連合会伊勢崎地域協議会から福祉事業基金へ2万円
 ● 匿名から伊勢崎ハイソヘカップ 24個
 ● 高橋由起さん(新栄町)から伊勢崎ハイソヘケーキ・ジュースなど
 ● 伊勢崎友の会から福祉事業基金へ3万円
 ● 杉原俊夫さん(曲輪町)から教育振興費として100万円
 ● 東京パーツ工業(株)社員一同から交通遺児基金へ16万7466円
 ● 伏見サタさん(千葉県船橋市)から福祉事業基金へ5万円
 ● (株)石のゴダイからあずま南小学校へ一輪車10台・竹馬10対・書籍11冊

新赤堀中学校校内覧会

4月1日(水)移転予定の、新しい赤堀中学校の校舎の内覧会を行います。ぜひお越しください。

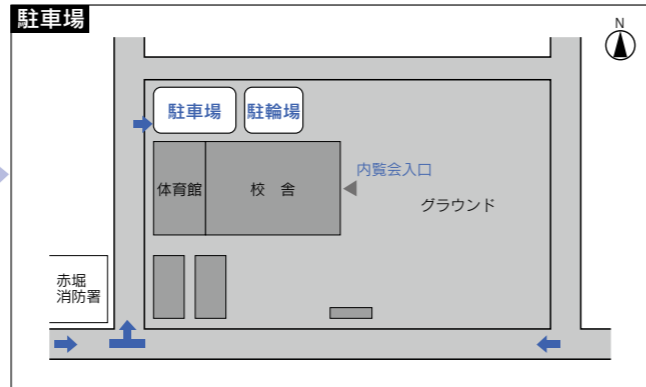
期日 3月14日(土)
 時間 午後2時~4時
 会場 下図のとおり

※上履きを持ってきてください

問い合わせ 教育施設課(☎27-2795)



完成イメージ



伊勢崎オート

● 川口オート場外発売
 GI開設63周年記念グランプリレース
 3/11・12・13・14・15

● 群馬中央バス杯争奪戦
 3/17・18・19・20

● 山陽オート場外発売
 特別GIプレミアムカップオートレース
 3/21・22・23・24・25



春の市民ハイキング
スポーツ振興課(☎27-2747)

期日 4月5日(日)
 時間 午前6時市役所集合・出発
 ※午後7時帰着予定
行き先 身延山、久遠寺(山梨県)

代表者会議
 参加チームの代表者は、代表者会議に出席してください。
 期日 4月3日(金)
 時間 午後7時30分開始
 会場 市役所東館5階第4会議室

認知症予防講演会
地域包括支援センター
(☎27-2745)

認知症は、特別な病気ではありません。誰もが認知症になる可能性があります。住み慣れた家で安心して暮らしていくために、正しい知識と理解、支え合う気持ちが大切です。
 期日 3月19日(木)
 時間 午後2時~3時30分
 会場 清掃リサイクルセンター121
定員 150人(先着順)
演題 認知症を知り住み慣れた家で暮らそう
講師 大沢誠さん(認知症サポート医)
参加料 無料

親子で楽しむまち歩きと境赤レンガ倉庫ペーパークラフト作り
企画調整課(☎27-2707)

期日 3月29日(日)
 時間 午後1時30分境赤レンガ倉庫出発
 ※午後4時30分解散予定
対象 市内の小学4年生から6年生までの子どもとその親
定員 15組30人(先着順)
内容 絹産業で栄えた歴史が色濃く刻まれている境町駅周辺

春蘭展
文化観光課(☎27-2758)

期日 3月14日(土)・15日(日)
 時間 午前9時~午後4時
会場 北公民館
入場料 無料
問い合わせ 伊勢崎市蘭蕙愛好会(☎240902・吉沢)

華蔵寺公園遊園地

☎25-4478 <http://www8.wind.ne.jp/kezouji/>

ホワイトデーイベント

期日 3月14日(土)
 時間 午前9時~午後5時
 ● カップルで観覧車を利用した人に、お得なクーポン券を差し上げます
 ● 午前11時と午後2時から観覧車を利用した人、それぞれ先着100人にプレゼントを差し上げます
 ※天候により変更になる場合があります

スポーツ

春季バレーボール大会
スポーツ振興課(☎27-2747)

期日 4月12日(日)
 時間 午前8時30分開会
会場 市民体育館
対象 市バレーボール協会に登録したチーム
種別 女子9人制
参加料
 ● 大会参加料 3000円
 ● 協会登録料 5000円
 ※代表者会議のときに支払ってください
申し込み 3月30日(月)までに直接スポーツ振興課へ

催し
認知症予防講演会
地域包括支援センター
(☎27-2745)

対象 市内に在住または在勤の70歳からいまでの人で、3時間程度歩ける人
定員 45人(先着順)
参加料 5000円(バス代、保険料など)
申し込み 3月9日(月)から16日(月)までに参加料を添えてスポーツ振興課へ
問い合わせ 市ハイキング協会(☎324005・富沢)

いきいき教室

市では、脳卒中などで在宅療養中の人の生きがいづくりや社会参加を支援するため、いきいき教室を開催しています。参加者を随時募集していますので、気軽に問い合わせてください。

開催日 水曜日
 ※月に2回程度の開催で、参加期間は原則として1年間です
 時間 午後1時~3時30分
 会場 ふくしプラザ

対象 市内に在住で、脳卒中などで在宅療養中のおおむね40歳から64歳までの人
内容 血圧測定、歌、体操、軽スポーツ、言語レクリエーション、作業活動など
参加料 無料

申し込み・問い合わせ 電話で各保健センター
 ● 健康管理センター(☎23-6675)
 ● 赤堀保健福祉センター(☎20-2210)
 ● あずま保健センター(☎62-9918)
 ● 境保健センター(☎74-1363)
 ※送迎を希望する場合は問い合わせてください



TOPICS 「伊勢崎市『農&食』戦略会議」ブランド化事業 短期連載③(全3回)

伊勢崎発のピュアな自然派トマト「Julia-575」 「Juliaのトマト・リゾット」フェア開催

3月7日(土)から22(日)までの16日間、「地産地消推進の店」参加店の協力で、「Juliaのトマト・リゾット」フェアを開催

「甘いだけのトマトは、トマトなのか」という疑問から始まった伊勢崎発の「真のトマト」作り。甘味・酸味・うま味の調和の取れた「真のトマト」を目指して誕生したのが、「Julia-575」です。

問い合わせ 農政課 ☎27-2757

トマトの真価とは何か

「伊勢崎市『農&食』戦略会議」(会員50人)では、伊勢崎産農畜産物の知名度アップと消費拡大に向けて、地場産品目のブランド化やPR活動に取り組んでいます。

同会議のトマト研究部会がこだわったのは、「トマトの真のおいしさとは何か」ということ。全国各地のブランドトマトを取り寄せて食べ比べ、議論を重ねてきました。そして、単に甘いだけではなく、甘味・酸味・うま味の調和の

取れたトマトこそ、原産地・南米アンデス高原育ちのような味わいを持つ「真のトマト」ではないかという結論に至り、栽培改良に向けた試行錯誤が始まりました。

トマト本来のおいしさ求めて「Julia-575」が誕生

甘味はもちろん、ほどよい酸味とうま味を持ち、その調和により生まれるトマト本来のおいしさ。トマト研究部会では、その最適な糖度を「5.75度」と決めました。

「Julia」と名付けたのは、純真で素直な愛を貫いた『ロミオとジュリエット』のヒロインのように育ってほしいという願いからでした。

「Julia-575」販売予定

「Julia-575」(直径60～65mm、2個入り)を、記念価格(税込340円を300円)で販売します。

期間 3月7日(土)から22日(日)まで

会場 JA農産物直売所「からか〜ぜ」(田中町)、食のGALLERYすわ(西小保方町)



欧風料理レストラン JIN
オーナーシェフ
大塚 政芳 さん

Juliaはこの時季としてはすごく良くできたトマトで、市販されているトマトと比べると、とてもおいしいトマトだと思います。農家さんがすごく努力したんだな、というのが第一印象です。癖がなく、料理との相性もいいです。加熱してもよし、生で食べてもよし。中もしっかり詰まっていて、料理を作りやすいトマトです。

こだわりは、甘みと酸味とうま味。香りも大事にしたいので、水やりを調整しながら作っています。比較的、酸味は少なめですが、甘いだけではありません。ゼリーの部分や柔らかい果肉などの食味も味わってほしいです。今回はトマト・リゾットフェアということですが、ご家庭では生食でもぜひ味わっていただきたいです。



トマト農家
町田 智哉 さん
(馬見塚町)

「Juliaのトマト・リゾット」フェア 3月7日(土)から22日(日)まで



「Julia-575」をはじめ、地場産食材を使った今回のフェア限定の創作トマト・リゾットを提供します。フェア期間中、「Juliaのトマト・リゾット」を注文した人を対象にアンケートを行います。アンケートに協力してくれた人の中から、抽選で20人に「贈答用Julia-575・パッケージ8」(8個詰め)をプレゼントします。

地産地消推進の店 フェア 協力店一覧

- ★欧風料理レストラン JIN(八幡町74-1/☎26-7342)
- ★luce cafe(上諏訪町2111-1/☎61-6710)
- ★Café suave(茂呂町二丁目2890-1/☎40-5226)
- ★竹林酒菜 座忘(今泉町一丁目28-2/☎26-3603)
- ★創作料理すわ(田部井町一丁目858-1/☎63-6526)